

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は2016年日本陸上競技連盟規則によって実施する。

2. 練習場及び練習について

(1) 練習は、下記のように本競技場を使用してよい。

7月15日 9時00分～17時00分

トラック：1～2レーン：中長距離

3～6レーン：短距離

7レーン：女子100mH、400mH

8レーン：男子110mH、400mH

フィールド：走幅跳、三段跳：スタンド側ピット

走幅跳 10:00～12:00 14:00～15:30 三段跳 12:00～14:00 15:30～17:00

※ただし、男子走幅跳の競技はA、Bピットで行う

走高跳：第3、4コーナー付近 棒高跳：バックストレート側ピット

跳躍の練習時間は10時00～17時00とするが、棒高跳は16時00までとする。

投てきは次のとおりとする。 * 砲丸投、ハンマー投練習は、サブ投てき練習場のみとする。

やり投：9:00～10:30 12:00～13:30 15:00～16:00 円盤投：10:30～12:00 13:30～15:00 16:00～17:00

砲丸投：9:00～10:30 12:00～13:30 15:00～16:00 ハンマー投：10:30～12:00 13:30～15:00 16:00～17:00

7月16日 7時00分～8時00分

7月17日 7時00分～8時30分

(2) 投てきの練習は事故防止上、必ず監督、チームが立ち会いのもとで練習すること。

3. 競技者の招集について

(1) 招集所は正面出入口付近に設ける。

(2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、すべてその競技開始時刻を基準とし、下記の要領で行う。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	25分前	15分前
フィールド競技	40分前	30分前
棒 高 跳	70分前	60分前

※棒高跳は1時間前現地点呼

(3) 招集完了時刻までにナンバーカードの確認を受け、競技者係の誘導により競技場に入ること。

(4) 棒高跳に出場する競技者は、競技開始時刻1時間前までに現地に集合のうえ点呼を受け準備を行うこと。

(5) 他の種目に出場しているなどの特別の事情がある場合に限り、代理人による点呼を認める。この場合必ず競技者係主任に申し出ること。

(6) 招集時刻に遅れると、当該種目を棄権したものととして処理するので注意すること。

(7) 当該競技を棄権する場合は、必ず棄権届を競技者係に提出すること。(招集開始時刻前までに提出すること)

(8) 混成競技者は、第1日、第2日の最初の種目のみ競技者係で点呼を受け、以後は混成係の指示を受ける。

4. ナンバーカードについて

(1) 全ての競技者はユニホームの胸、背に主催者が交付したものを使用し、確実に付けること。跳躍競技に出場する競技者は、胸又は背のどちらかに付けるだけで良い。

(2) トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバーカード(点呼の際、競技者係より配布)を右腰やや後方に付けること。フィニッシュ後に自分で外し、係の者に返却すること。

5. レーン順、競技順について

(1) トラック競技予選レーン順、フィールド競技試技順はプログラム記載の順による。

(2) 準決勝、決勝の組み合わせ及びレーン順は番組編成係で抽選をし、その結果を招集所に提示する。

(3) 短距離競走のフィニッシュ後は、競技者の安全のため自分に割り当てられたレーン(曲走路)に沿って走り終えること。

6. 競技について

(1) 長距離競走において1レースの競技者が多数の場合は、グループスタートで行う。

(2) タイムレース決勝については、申込記録により上位・下位に分け、組み分けを行う。

(3) 競技中助力については、競技規則第744条に基づくものとする。また、競技者は携帯電話、CDレコーダー、トランシーバーなどの通信機器を競技場内に持ち込むことはできない。

(4) トラックレースにおいて、予選の棄権者により出場者が8名以内の場合は、予選を止め、決勝の時間に行う。

(5) リレーのオーダー用紙については次の通りとする。

① リレーのオーダー用紙は、招集所に用意する。

② オーダー用紙は、競技開始1時間前までの提出をもって完了とする。

(6) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

種目	練習	1	2	3	4	5	
走高跳男子	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	2m03	以後は3cmあがり
走高跳女子	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	以後は3cmあがり
棒高跳男子	3m60	3m70	3m80	3m90	4m00	4m10	以後は10cmあがり
棒高跳女子	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	以後は10cmあがり
混成走高跳男子	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	以後は3cmあがり
混成走高跳女子	1m35	1m40	1m43	1m46	1m49	1m52	以後は3cmあがり

① 第1位決定の上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳5cmとする。

② 天候その他の特殊条件によって変更する場合は、当該審判長が決定する。但し、混成競技棒高跳は審判長が別に定める。

(7) 男4×400mRは、開催要項において1日目に予選と記載しているが、本大会は2日目にタイムレース決勝として行う。男・女4×100mRの参加チームが8チーム以下の場合は、1日目の決勝時に決勝を行う。

7. 競技場への入退場について

(1) 競技場の入退場は全て、競技役員の誘導により行う。競技者以外は、競技場に立ち入ることはできない。

(2) 競技終了後におけるトラック競技者は、スタンド横の通路より退場し、メインスタンド前は通らない。

(3) フィールド競技における競技者は、当該審判員、場内司令の指示に従い退場する。

8. 競技用器具について

(1) 競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳のポールは個人所有のものを使用する。ポールについては、競技開始前に跳躍場で跳躍審判員の検査を受け許可されたものが使用できる。(やりも個人所有のものを認める。但し、用器具庫で検定を受けること。)

(2) フィールド競技で、助走に使用するマーカーは、主催者が用意する。使用し終わったら、競技者自身で取り外し、所定の場所に返納する。

9. 競技用スパイクシューズについて

競技場は、全天候型であり、スパイクピンの数は11本以内で長さは9mm以内、走高跳とやり投では12mm以内とする。

10. 表彰について

各競技8位までの入賞者は賞状を授与する。表彰は3位までとし、当該競技終了後、係の指示に従い表彰待機所で待機すること。なお、4～8位賞状は、エントランスホールに賞状置き場を設けるので取りにくること。

11. 選手権者は北海道陸上競技協会登録者でないと、日本選手権には出場できない。

12. テントの設営場所について

テントを張る場所は、次に従い、各自責任を持って取り扱うこと。

- ・大会前日は設置できない。大会当日の開門より認める。競技場外はサブ練習場の芝席以外は禁止とする。
- ・大会期間中は設置したままで良いが、各校・各自の管理責任とする。主催者では一切の責任は負わない。
- ・メインスタンドへの設置はしないこと。サブ練習場芝席については、その日毎に撤去すること。

13. 応急処置について

医務室に医務員を配置し、応急処置までの用意はある。

14. ごみ処理の協力について

ごみは全て持ち帰りになります。

15. その他

貴重品の管理は、各自またはチームごとに責任を持って行うこと。